

7F5W

インターネット受付 領収書 (お客様控)

領収日 2021年 9月 11日 時間 20時 22分
収納店舗 15132-5 佐野堀米町

申込No: 1513272547332791

お申込商品代金 1,220円

受付番号: 953429

お客様氏名: スガワラトオル様 佐野市議会議員

チケット入手方法は下記ホームページをご覧ください。

合計金額 1,220円

発行者 Peatix

お問い合わせ先: Peatix

メールアドレス: peatix@peatix.com

お問い合わせ受付時間: 10:00-18:00

ホームページ: http://ptix.co/ticket

【お申込内容】

お名前: スガワラトオル
イベント名: 9月30日『森林資源活用によるグリーンリカバリー
チケット名: 一般有料チケット
※本領収書はチケットではありません。
※チケットは2時間後にPeatixアプリ、パソコンの画面上に表示されます。
※スマートフォンをご利用の場合、アプリ(Peatix)をダウンロードし、
ログイン後チケットのお受け取りをお願いします。
※パソコンをご利用の場合、Peatixページにアクセスし、ログイン後
マイチケット画面からチケットのお受け取りをお願いします。
Peatixサイト(https://peatix.com/dashboard)
※詳細はhttp://ptix.co/ticketをご覧ください。



複製 禁止

※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

9月30日『森林資源活用によるグリーンリカバリー』講演会

詳細

森林大国日本の資源を活かしたグリーンリカバリー / 出版記念講演会

- ・申込は9月29日（水）20:00で締切りますので、お早めをお願いします。
- ・一般の方はチケットを右欄から入手してイベントにご参加ください！
- ・農都会議の2021年度会員は無料でご参加いただけます。

9月30日（木）15:00-17:00、「森林資源活用によるグリーンリカバリー」講演会をオンラインで開催します。地域循環共生と新しいコモンズの構築へ向けて、世界の現状を知り、課題を考えたいと思います。

イベント詳細 <https://blog.canpan.info/bioenergy/archive/351>

○テーマ、開催趣旨

森林資源活用によるグリーンリカバリー～地域循環共生と新しいコモンズの構築へ向けて～

いま世界は、気温上昇1.5度以内、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会構築へと一斉に走り出し、経済復興を合せた社会改革に向けて環境や経済の「グリーン化」が始まっています。

市民も自治体も企業も脱炭素に向け動き出し、産業構造は大きく変化し、特に温暖化とコロナ禍で資本主義の土台が崩れ始め、まったく新しい思考、対応策が必要な時代へと変わってきました。あらゆる面でこれまでの延長、改善、改革などではなく、変革が求められています。幸い日本は森林大国です。その豊富な森林資源を活用した「日本独自のグリーンリカバリーの世界」を、一緒に考えたいと思います。

○日時

2021年9月30日（木）15:00～17:00（10分前入場開始）

○会場

オンライン開催（Zoom利用）

○プログラム

<第1部 講演・質疑>

「木質資源活用によるグリーンリカバリーとは」

竹林 征雄氏（NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク 副理事長、一般社団法人日本サステイナブルコミュニティ協会 顧問、NPO法人農都会議 アドバイザー）

*森林活用、エネルギー、コモンズ、循環経済、SDGsをキーワードに、豊富な森林資源を活用した「日本独自のグリーンリカバリーの世界」をお話しいたします。また、熱電併給システム・CHPの現状についても説明していただきます。

<第2部 ディスカッション>

「グリーンリカバリーを通して新しいコモンズの構築は可能か？」

パネリスト：

竹林 征雄氏（NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク 副理事長）

東郷 佳朗氏（神奈川大学法学部 准教授）

泊 みゆき氏（NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク 理事長）

大場 龍夫氏（株式会社森のエネルギー研究所 代表取締役、一般社団法人日本サステイナブルコミュニティ協会 理事）

*講師とパネリストの皆様で対談し、参加者の皆様とも意見交換していただきます。

※時間等内容は都合により変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

※新型コロナウイルス感染対策のため、オンラインにて開催いたします。

○主催

NPO法人農都会議

2021/09/30 (木)

15:00 - 17:00 JST

📅 カレンダーに追加

会場 オンライン

チケット

一般有料チケット

受付終了

¥1,000

主催者



地域型バイオマス
フォーラム

フォロワー数: 646

グループをフォロー

ゆうさん

濱崎 彰弘

鯉淵卓郎

なおき

Takeshi Shigekuni

参加者一覧 >

講演会参加報告書

2021年10月1日
公明党議員会 菅原 達

◇テーマ：「森林資源活用によるグリーンリカバリー
—地域循環共生と新しいコモンズの構築へ向けて—」

◇日時：2021年9月30日（木）15:00～17:00

◇会場：オンライン開催（Zoom）

◇プログラム

【第1部 講演・質疑】

「木質資源活用によるグリーンリカバリーとは」をテーマに竹林 征雄氏の講演及び質疑
（主な内容）

- ・木からエネルギーを創る便益は、特定の個人や企業、産業界だけが得るものではなく、市民や国民全体が恩恵を浴するものである。
- ・電力部門を交通部門や産業部門、熱部門など他の消費分野と連携させることで、社会全体の脱炭素化を進める社会インフラ改革の構想を進める必要がある。
- ・日本は森林とともに歩み、森に育まれた文明である。現代の諸悪の根源は人間の行動活動にあり、生活と産業スタイルの大転換が必要である。

【第2部 ディスカッション】

「グリーンリカバリーを通して新しいコモンズの構築は可能か？」をテーマにディスカッション
（主な内容）

- ・「コモンズ」という言葉は、自然資源の共同管理のシステム、あるいは、自然資源そのものをさしている。
- ・日本では、コモンズの考え方が新たな公として位置づけられ、行政だけでなく NPO などの多様な民間主体との協働により、地域のニーズに応じた社会サービスの提供を行うとされている。
- ・グリーンリカバリーとコモンズを一言で言うと、持続可能性であり、環境、経済、社会、地域がみな含まれる。
- ・ニューコモンズは SDGs のベースの上にある。人間社会が自然を破壊しているのは明らか。

◇所感

- ・グリーンリカバリー、ニューコモンズという新たな概念について、炭素税や地域循環共生モデルの適正規模などを通し学ぶことができました。
- ・格差拡大等による閉塞感を打ち破るために炭素税を変えることが有効であることや、持続可能な日本社会を創るために、現在の枠組みを変える必要があることも学びました。
- ・地域特性を踏まえ、エネルギーの地産地消に適した木質バイオマスの活用を考えるべきであると考えます。

以上